

case 01

化学

環境創造センター
研究部

(平成27年度採用)

わたしを表すキーワード

keyword 01

5

#生き物

昔から生き物好きで、今はアクアリウムにハマっています。休日には熱帯魚ショップをハシゴしています。

keyword 02

#ドライブ

車の運転が好きです。関西などの遠方にも行きますが、四季が豊かに感じられる県内のドライブは最高です。

keyword 03

keyword 04

#自然

#料理

keyword 05

#旅行



略歴

H27～H28 生活環境部 水・大気環境課

H29～H30 生活環境部 産業廃棄物課

H31～R2 環境創造センター 野生生物共生センター駐在

R3～現在 環境創造センター 研究部

環境サイドから福島の未来を創る！

原発事故後、福島ではイノシシやクマなどの野生動物から高濃度の放射性セシウムが検出されることがあり、現在も出荷制限等がかけられています。私は、これら野生動物の放射性セシウム濃度が高濃度となる原因について調べています。この原因を明らかにすることで、出荷制限等解除の判断に役立てることが出来ます。このような福島の課題解決に関わる調査研究に携われていることにやりがいを感じています。

県職員を目指した理由

やはり震災を経験したことが大きいです。私は大学入学直前に震災を経験しました。県外の大学へ進学しましたが、福島の役に立ちたいという思いが頭から離れず、大学で学んだ知識を活かして福島に貢献しようと県職員になりました。



とある一日のスケジュール



印象に残っている経験・エピソード

野生生物共生センターに所属していた際、来館者へ生物多様性や傷ついた野生動物の救護について案内をしていました。後日、「丁寧に案内してくれてありがとう。とても勉強になり楽しい時間だった」というお礼の手紙が届きました。とてもうれしく、より一層頑張ろうと思った瞬間でした。



福島県職員として、実現したいこと・目標としていること



今はまだ福島と聞くと第一に放射性物質のことが頭に浮かぶ方も多いと思います。いずれは、豊かな自然環境や環境施策の先進地としてのイメージが第一に思い浮かび、誰もが安心して住める、住みたいと思うそんな福島を実現したいです。そのために、モニタリングや調査研究、環境施策に関する情報を正確に分かりやすい形で皆さんへ提供し、皆さんと一緒に福島の未来を創っていきたいです。

(令和5年3月現在)